

今夜7時から
西成市民館3階
毎週金曜日

みんなでつくる
みんなの会館
三人よれば何とかなる

夜間学校ニュース

西成区萩之茶屋ス-5-23
解放会館3階 金曜 午後7時
連絡先 釜ヶ崎夜間学校

時の流れと行く末は...

雲の流れに聞いとくれ 私しや野に咲くレンゲ草

「てな」と言っている場合ではないのです、夜間学校の出発は一九八〇年五月の末、それからほぼ四年もたった。もつとも、今の夜間学校は四年前と、ビラを書いた配り、配ったりしているメンバーは随分とちがう。やっという場所もちがう。ちがうながらも、夜間学

校としては四年の歴史があるわけだ。なんて二ことを考えるのは今回のテーマを決めかねているからで、目が過去にむき、若干なげやりになっっている二ことのあらわれだ。同じようなテーマが四年の間に何度かある。時は流

れ、世の中も大きくかわっている。世の中も大きくなっている。金だけが、ひとりこりのこされて、いるような気もする。世の中悪い方にかわって、いるのだから釜が変わっていないとすれば、相対的に釜はずばらしいということだが、どうもそうではないらしい。で、突然ながら、このピラをいつも配っている二人の好青年(？)や常時外から通ってきている一人は西成生まれ、二人の人に、釜に来はじめでどれくらいになるのか、釜にきたときと通っている今とは、何かちがうものが見えてきたか、それとも変わったところは何もないか、などを、聞

いてみたいと思つ。それを参考に、時の流れと行きつく末を考えてみたい、と思つ。釜に来て何年になり、どのようにして生きてきたか、釜にきて何かかわったことはあるか、今にして、自分が何故ここに居るかを正しく整理し、えるか。セワヤキのニイちゃんたちの話を聞きながら、共に話しながら考えてみよう。私しや野に咲くレンゲ草、世の流れがどうかろうと、ひとり咲いて枯れるだけ、なんて簡単なことではすまないのが人の世のつねだ。そのゴチゴチを聞き、考えよう。

ドヤ代売リ手市場を

ノックは「親父といっしよに会社をやって
いた(株主)が親父が別の会社の手形の裏書
をしたので倒産、親父はトシコロという話

「元請けは、センターからきた
人には債金を払ったけど、ワシ
らには常套いで株をもってる。
いうて全くめんどうをみんな」

「株式会社というのは、株の分だ
け責任を負うから、それ以上の
ことは何も言えん」

「トシコロした親父が新しい会社
をやったとるけど、背任・横領で
もなにかごり責任は問えな」

「正社員というのは親父(社長)
との関係だけで見結しとる。日
稼いはその真、未払い債金につ

いても元請けまでも要求できる」
株主にするというのは、労働者

ビビろうするか

を引き止めるためのエサみたい
なもんで、こういうことになる
と道義的な問題しか残らん」

「今日のアップレキは、三一〇
円しか入ってなかった。文句
いうても全く受けつけへん」

「たまにそんなことがある。人
数分金を用意してあるんやった
ら最後に余るはずやけど、それ
も認めへん」

「ドヤなんか、次の日に取りす
ぎてたとか言うことあるのに」

「ドヤはだいたい売り手市場や

から、好き放題や」
「便乗値上げも目立つ」
「タイヨウ、千ユーオーびみの
値段もめずらしいしな」

「一七〇〇円ということになる
と、目五万円や」
「だいたい、住居費というのは月
収の四分の一が限度、それ以上
になると、生活がおかしくなる」

「それでも、高いところに人が
集って安いところはカラカラや」
「たしかにこゆからは、風も入
らんところではやっていけん」

「高うてたまらんいうのはある
んやけど、その根拠やない」

「カラリーテレビ
を聞いたから二
〇〇円アップい
うのはどう考えてもお
かしい」

「原価主義というても、
やっぱり問題は高い根拠やない」
「たいたい今やったら飯場に行
く人が多いいんやから、ドヤはガ
ラアキにならんといかんのに、
そうやってない」

「ほとんど議員や、結局新築ナ
ームというところで絶対数が少な
いのが原因と思う」
「公共性は完全に無視されてる」
「周辺に比べてもアパートなん
かも高いで」

「アパート建設とか飯場建設が
んかは行政の援助があるんやか
ら、ここらめたりからタタいて
いったらどうやろ」